

PayPay投信バランスライト

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運 用 方 針	この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
主要運用対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいいます。）に投資を行ないます。
組 入 制 限	①投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への直接投資は行ないません。 ③外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ④デリバティブの直接利用は行ないません。
分 配 方 針	①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行なわない場合もあります。 ②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。 ③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。

《お知らせ》

当ファンドは、投資信託約款第42条の規定に基づき償還となったため、第16計算期間は2025年3月25日までとなっております。

運用報告書（全体版）

繰上償還

（2025年3月25日償還）

受益者のみなさまへ

平素は「PayPay投信バランスライト」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび繰上償還となりましたので、ここに運用状況等につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

■最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投資信託 証券比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	収益分配金 (課税前)	期 中 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
7 期 (2020年11月10日)	11,093	0	5.4	99.3	1,990
8 期 (2021年 5 月10日)	11,466	0	3.4	98.8	1,763
9 期 (2021年11月10日)	11,733	0	2.3	98.2	1,778
10期 (2022年 5 月10日)	10,642	0	△9.3	101.7	1,619
11期 (2022年11月10日)	10,003	0	△6.0	99.6	1,575
12期 (2023年 5 月10日)	10,355	0	3.5	99.4	1,652
13期 (2023年11月10日)	9,784	0	△5.5	101.4	1,454
14期 (2024年 5 月10日)	10,197	0	4.2	101.6	1,348
15期 (2024年11月11日)	10,587	0	3.8	101.0	1,263
(償 還 時)	(償還価額)				
16期 (2025年 3 月25日)	10,444.08	0	△1.3	—	563

*基準価額の騰落率は収益分配金（課税前）込み。
*当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		投資信託 証券比率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2024年11月11日	10,587	—	101.0
11月末	10,605	0.2	99.3
12月末	10,332	△2.4	101.8
2025年 1 月末	10,442	△1.4	95.5
2 月末	10,436	△1.4	—
(償 還 時)	(償還価額)		
2025年 3 月25日	10,444.08	△1.3	—

*期末基準価額は収益分配金（課税前）込み。騰落率は期首比。

■設定以来の運用実績

〈基準価額の動き〉

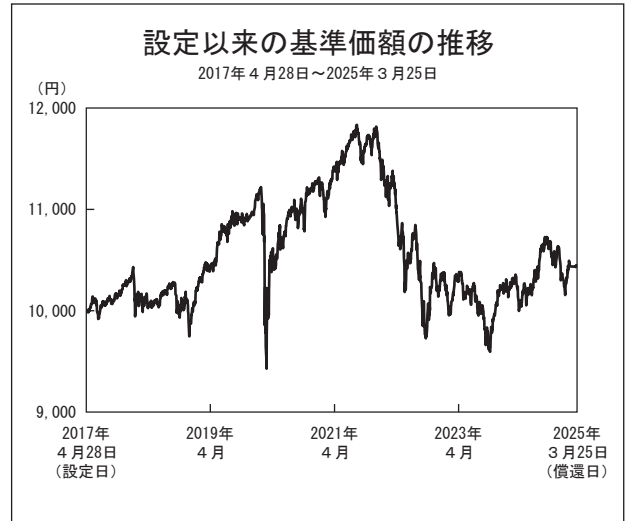
当ファンドの償還価額は、10,444円08銭となり、設定日との比較では4.4%の上昇となりました。

〈基準価額の主な変動要因〉

世界的な景気拡大や欧米の金融緩和などが押し上げ要因となり、世界の株式が堅調に推移したことなどから基準価額は2021年9月にかけて上昇しました。その後は、世界の債券の下落がマイナスに影響したことなどから基準価額は下落基調で推移しました。組入投資信託証券については、世界の株式を主要投資対象とするiShares MSCIグローバルミニマムボラティリティファクター・ETFが上昇しました。一方、米国の債券を主要投資対象とするバンガード・トータルボンドマーケット・ETFや米ドル建てを除く世界の債券を主要投資対象とするバンガード・トータルインターナショナルボンド・ETFは軟調な動きとなりました。

〈収益分配金〉

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、設定来分配を見送らせていただきました。



〈市況〉

株式

世界の株式は、世界的な緩やかな景気拡大などを背景に2020年2月にかけて上昇しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気後退懸念が強まったことから大きく下落する場面も見られましたが、大規模な経済対策や金融緩和が行われる中、景気回復への期待感が高まったことなどから底堅く推移しました。2022年1月以降は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や世界的な金融引締めなどを受けて軟調な動きとなりましたが、その後は反発に転じ、米国経済のソフトランディング（軟着陸）や欧米の金融緩和などへの期待感を背景に2025年2月にかけて上昇基調で推移しました。

債券

欧米の国債利回りは、米国の金融政策正常化が進む中、欧米のインフレ圧力の高まりが意識されたことなどから2018年11月にかけて緩やかに上昇（債券価格は下落）しました。その後は、米中貿易戦争や英国の欧州連合離脱を巡る混迷に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた大規模な金融緩和を背景に債券市場に資金が流入したことから利回りは低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、大規模な経済対策に伴う国債増発懸念を受けて利回りは上昇に転じ、インフレの鎮静化に向けた主要国の金融引締めの動きなどを背景に2023年10月にかけて上昇基調で推移しました。日本の国債利回りは、日本銀行の金融政策変更への思惑を背景に上昇しました。

※上記は、投資対象とする投資信託証券の値動きに基づき記載しています。

■設定以来の運用経過

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の株式、債券に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行なうことを基本としています。資産配分は、信託財産の純資産総額に対し株式50%、債券50%を目安としています。また、投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保つことを基本としています。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行なうこととしています。

設定来、運用の基本方針に則り、投資信託証券の組入比率は、概ね90%台を維持するとともに、資産配分は、株式50%程度、債券50%程度で推移させました。外貨建資産については、ほぼ全額為替ヘッジを行ないました。なお、信託期間を通じて、投資対象とする投資信託証券の見直しは行ないませんでした。

当ファンドは、投資信託約款の規定に基づき償還となりました。受益者の皆様におかれましては、当ファンドにご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

■ 1 万口 (元本10,000円) 当たりの費用の明細

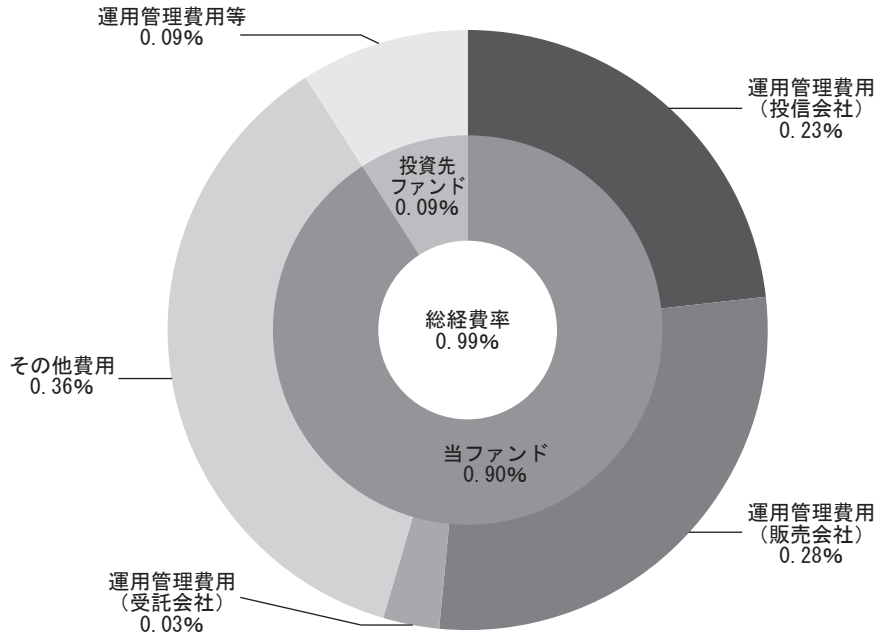
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2024. 11. 12～2025. 3. 25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	21円	0. 198%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10, 453円です。
（投信会社）	(9)	(0. 085)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(11)	(0. 101)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
その他費用	14	0. 132	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0. 023)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0. 009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(10)	(0. 100)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	35	0. 330	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.99%です。



総経費率 (①+②)	(%)	0.99
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.90
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	(%)	0.09

*①の費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値です。

*投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

*①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

*①の費用と②の費用は、計上された期間が異なります。

*②の費用は、運用管理費用および運用管理費用以外の合計です。

*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年11月12日から2025年3月25日まで）

●投資信託証券

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国		口	千米ドル	口	千米ドル
	(アメリカ)				
	iShares MSCIグローバルミニマムボラティリティファクター・ETF	—	—	36,640	4,124
	バンガード・トータルボンドマーケット・ETF	—	—	28,257	2,044
	バンガード・トータルインターナショナルボンド・ETF	—	—	41,383	2,045

*金額は受渡し代金。
*単位未満は切捨て。
*管理上の都合により、口数の単位を調整して表示する場合があります（後掲の「組入資産の明細」において同じ。）。

■利害関係人との取引状況（自2024年11月12日 至2025年3月25日）

期中における利害関係人との取引はありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2025年3月25日現在）

有価証券等の残高はありません。

■投資信託財産の構成（2025年3月25日現在）

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	570,268	100.0
投資信託財産総額	570,268	100.0

*評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年3月25日)現在

項 目	償 還 時
	円
(A)資 産	570,268,353
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	570,261,635
未 収 利 息	6,718
(B)負 債	6,636,180
未 払 解 約 金	3,821,298
未 払 信 託 報 酬	1,810,263
そ の 他 未 払 費 用	1,004,619
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	563,632,173
元 本	539,666,469
償 還 差 益 金	23,965,704
(D)受 益 権 総 口 数	539,666,469口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C / D)	10,444円08銭

■損益の状況

(自2024年11月12日 至2025年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A)配 当 等 収 益	9,857,193
受 取 配 当 金	9,083,949
受 取 利 息	773,244
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△14,393,197
売 買 益	60,873,080
売 買 損	△75,266,277
(C)信 託 報 酬 等	△3,026,108
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△7,562,112
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△3,013,738
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	34,541,554
(配 当 等 相 当 額)	(65,772,706)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△31,231,152)
(G)収 益 分 配 金	—
償 還 差 益 金 (D + E + F + G)	23,965,704

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉
・ 期首元本額 1,193,572,248円
・ 期中追加設定元本額 21,025,192円
・ 期中一部解約元本額 674,930,971円

■投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2017年 4 月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年 3 月25日		資 産 総 額	570,268,353円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	6,636,180円
受益権口数	40,217,972口	539,666,469口	499,448,497口	純 資 産 総 額	563,632,173円
				受 益 権 口 数	539,666,469口
元 本 額	40,217,972円	539,666,469円	499,448,497円	1 万口当たり償還金	10,444.08円
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	947,801,726円	964,294,558円	10,174円	0円	0.0000%
第 2 期	1,353,907,127円	1,360,179,285円	10,046円	0円	0.0000%
第 3 期	1,517,765,921円	1,533,335,304円	10,103円	0円	0.0000%
第 4 期	1,371,656,539円	1,428,561,503円	10,415円	0円	0.0000%
第 5 期	1,564,953,469円	1,698,525,693円	10,854円	0円	0.0000%
第 6 期	1,767,754,439円	1,860,069,400円	10,522円	0円	0.0000%
第 7 期	1,794,506,602円	1,990,635,416円	11,093円	0円	0.0000%
第 8 期	1,538,331,388円	1,763,800,331円	11,466円	0円	0.0000%
第 9 期	1,516,006,697円	1,778,704,479円	11,733円	0円	0.0000%
第10期	1,521,969,508円	1,619,731,282円	10,642円	0円	0.0000%
第11期	1,575,450,341円	1,575,971,040円	10,003円	0円	0.0000%
第12期	1,595,291,898円	1,652,000,781円	10,355円	0円	0.0000%
第13期	1,486,641,174円	1,454,466,872円	9,784円	0円	0.0000%
第14期	1,322,700,375円	1,348,783,119円	10,197円	0円	0.0000%
第15期	1,193,572,248円	1,263,641,109円	10,587円	0円	0.0000%

■償還金のお知らせ

1 万口(元本 1 万円)当たり 償 還 金	10,444円08銭
---------------------------	------------

償還金の課税上の取り扱いについて

償還時の差益については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
なお、源泉徴収選択口座においては原則として確定申告は不要となります。

※法人の場合は上記と異なります。

※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めいたします。